



前号の第八展示室では、その昔、大きな行李を背負って徒歩で幾山も超え、各地に薬を届けた売薬行商人たちのお土産のアイテムの一つ「売薬版画・富山絵・おまけ絵」を見ていただきました。今号では、そんなお土産の中でも横網格の「紙風船」をご紹介いたします。

置き薬屋さんが配るお土産の条件には「持ち運びに軽いもの」「宣伝効果のある文字や絵(を書いてある)」「縁起のよいもの(がデザインされている)」などの要件が満たされていることが大事と前号に書きましたが、「紙風船」は広告面が六面もあり、さらに子供たちに喜ばれるという要素も加わって、置き薬屋さんといえは「紙風船」というほどの印象深いお土産です。印刷された題材は時代とともに変遷を遂げ、「紙風船」は時代を映し出す鏡とも言えそうです。近年は「紙風船」を作る「貼り手」が少なくなつたためゴム風船にとって代わられましたが、広告媒体としての価値は高く、比較的最近でも宣伝に使われています。

(1) 薬の宣伝……家庭薬の啓発標語や薬の宣伝が書かれています。



風邪薬の「トンプク」



創製は鎌倉時代の「三光丸」



広貫堂の「熊胆丸」



「赤玉はら薬」は下痢止め

(2) 童謡や童話……子どもや口ずさんだ童謡や唱歌も人気がありました。



ポッポポで始まる「鳩」の歌



ちょっと寂しい「待ちぼうけ」



おかっぱとおおさがが歌う「仲よし小道」



鐘の鳴る丘の主題歌「とんがり帽子」

(3) ヒーローやアイドル……ヒーローやアイドルは時代とともに替わります。



外国からやってきた「スーパーマン」



「月光仮面」は正義の味方



キュートな「雪村いずみ」さん



「鉄腕アトム」と「お茶の水博士」

(4) 戦気高揚……子どものための紙風船まで戦時色に染まった悲しい時代。



勝ってカブトの緒を締めよ!



すべてを戦争へ



スパイは汽車に井戸端に



今日も決戦 明日も決戦

(5) 新しい時代……今は紙以外の素材も登場しました。



これはびっくり、ビニール製



水虫薬「スコーピオ」の宣伝物



昔も今も「富山」は薬の街



日本赤十字社が献血をPR

<参考資料> 玉川信明 著『風俗 越中売薬』巧玄出版/玉川信明 著『富山売薬の歴史』薬日新聞社/高橋善丸 著『お薬グラフィティ』光琳社出版